

## フランス共和国における浮体式洋上風力発電案件への プロジェクトファイナンス組成について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、このたび、フランス共和国（以下「フランス」）において浮体式洋上風力発電事業の建設・保守・運転を行う「Eoliennes Flottantes du Golfe du Lion（エオリエン・フロトントウ・デュ・ガルフ・デュ・リヨン）プロジェクト」（以下「本案件」）を対象とし、リードアレンジャーとしてプロジェクトファイナンスを組成し、他の民間金融機関と European Investment Bank（欧州投資銀行）、EKF（デンマーク輸出信用基金）とともに協調融資を行います。

本事業は、Ocean Winds（※1）及び Banque des Territoires（groupe Caisse des Dépôts）（※2）が出資する特別目的会社である Les Eoliennes Flottantes du Golfe du Lion が、2016年11月に事業者として選定され、開発を推進してきました。地中海ルカート沖の水深約75mの海域にセミサブ型浮体式風車を3基設置し、発電された電力を20年間にわたり、フランスのFiT制度に基づき売電するものです。発電所の規模は、約30MWとなります。

本事業向け協調融資は商業化されていない浮体式洋上風力向けのノンリコースローンであるという観点で革新的なファイナンスストラクチャーを活用しており、今後数年同種事業向けノンリコースファイナンスの雛型となりうるものとなります。

世界の洋上風力発電市場は、過去5年で極めて急速な成長を遂げており、2020年末時点の発電容量は35GWを記録し、2030年までには270GWまで成長するとの見方もあります。

特に、遠浅の海域が少ない我が国では、水深の深い海域に適した浮体式洋上風力の導入拡大が重要とされています。2020年末時点での世界の浮体式洋上風力発電容量は73MWと発展途上の段階にあり、本件は浮体式洋上風力発電プロジェクトの先駆けとして将来の市場成長に貢献するものです。

みずほ銀行は、これまでに培った豊富な電力事業への知見とプロジェクトファイナンスの実績を活かし、今後も国内外における再生可能エネルギーの発展と技術革新を支援し、気候変動への対応促進と脱炭素社会への移行支援に貢献していきます。

（※1）Engie SA 及び EDP Renováveis S.A. が株主となるジョイントベンチャー。

（※2）フランス預金供託公庫グループ地域公庫

### <本案件概要>

事業名	Eoliennes Flottantes du Golfe du Lion 浮体式洋上風力発電プロジェクト
事業者	Les Eoliennes Flottantes du Golfe du Lion（Ocean Winds、Banque des Territoires（groupe Caisse des Dépôts）が出資する特別目的会社）

事業内容	地中海ルカート沖における浮体式洋上風力発電の建設・保守・運転
リードアレンジャー /貸付人	みずほ銀行、Banco Santander, S.A.、Crédit Agricole Corporate and Investment Bank SA、KfW IPEX-Bank GmbH、European Investment Bank、EKF
契約締結日	2022年5月31日

<位置図>



<イメージ図>



(提供: Ocean Winds)